

THE NEWS LETTER

日本歯科審美学会

Japan Academy of Esthetic Dentistry

Vol. 20
2010 Winter · 2010年2月

巻 頭 言

21年目を迎える学会として

日本歯科審美学会副会長 齊木好太郎



日本歯科審美学会は、今年設立21年目を迎える。まさに一般社会で言えば成人式をおこなった昨年から今年は成人2年生として新たな年を迎えます。

学会組織としては勉強会形態からスタートして、現在では歯科医師を始めとして歯科技工士、歯科

衛生士、関係研究者、関係産業者等「歯科審美」を志す多くの会員の方々による3,500名余の会員を擁する学会となりました。特に、歯科審美に関わるさまざまな領域の方々の参加によるところが他の学会にないところかと思われま

す。これは、「歯科審美」というテーマが、ただ単に美しい修復物の作成や装着のみではなく、その結果、患者のヒトとしての口腔領域のみならず顔貌、身体、精神や心までの健康で美しい生活実現を目的としているところであり、そのための各歯科専門分野、領域が横断的で連携を持った学問体系を必要としているところではないかと思われま

す。そして、社会あるいは医療受益者側から見れば最もその効果が評価しやすい直結したテーマだからともいえます。一方で21世紀に入り11年目を迎えた今年、社会の価値観や環境変化、多様化、歯科医療界での病態変化、高齢化、技術の高度化、多様化などの状況変化などを踏まえて、その時代に対応した「歯科審美」の構築も必要になってきているのではと感じられます。

そのためには、各領域の専門分野としての知識、技術の確立を目指しその連携を持ち一体となって社会からの要求、あるいは社会への発信、提供をおこなわなければと感じられます。その意味でも、新たな学会の活動をおこなうべく会員の皆様方と共に邁進したいと思います。

第21回日本歯科審美学会総会・学術大会のご案内



第21回日本歯科審美学会総会・学術大会を東日本有数の高原リゾート地安比高原にて開催することとなりました。本大会のメインテーマを「歯科審美の源流：21年目の発見」として、日々進歩を止めない歯科審美の流れの中にあって、あえてその原点に立ち戻り、ここ岩手の地で有益な時間を過ごしていただきたいと思っております。

学術大会プログラムは午前7時から開始します。熱いディスカッションを交わしていただいた後、午後には、みちのくの夏を満喫していただくため、様々な企画を予定しております。診療スタッフの皆様とおそろいでご参加頂ければ、研修と親睦を兼ねた絶好の機会になることと思います。また、宿泊施設はご家族の宿泊にも対応できます。

高原リゾート地安比高原という開催地の特徴を生かし、皆様の記憶に残る学術大会にしたいと思っております。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

【会 期】 平成22年8月27日(金)・28日(土)・29日(日)

【会 場】 岩手県八幡平市 安比プラザ・リゾートセンター

【大会長】 石橋寛二(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野)

【実行委員長】 武部 純(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野)

【準備委員長】 大平千之(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野)

【大会WEB】 <http://hitech-d.iwate-med.ac.jp/crbr/shinbi21%20new/home/index.htm>

【学会プログラム】

●8月27日(金)

総会、ポスター展示・15:00～、ポスター討論・17:30～18:30

※28日(土)・29日(日) 両日も展示を行います。

●8月28日(土) 7:00開始

会長講演『口腔の美—形態と機能—』

佐藤 亨(東京歯科大学)

教育講演I『これまで、そしてこれからの審美修復治療』

「Past Present and Future of Esthetic Dentistry」

桑田正博(クワタカレッジ)

教育講演II『Fundamental consideration of esthetic dentistry –What I learned from Dr.Lloyd Miller through his last case–』

Shigemi Ishikawa-Nagai (Harvard School of Dental Medicine)

特別講演『日本の歯科医療の現状と将来』

小川 彰 (岩手医科大学)

シンポジウムI『21年目のキセキ–審美治療のlongevityを考える–』

●8月29日(日) 7:00 開始

大会長講演『歯冠色を測る』

石橋寛二 (岩手医科大学)

シンポジウムII『カラーマネージメントを科学する』

海外招待講演

シンポジウムIII『CAD/CAMの最前線』

シンポジウムIV『インプラントのティッシュマネージメント』

【ソーシャルプログラム】

●8月27日(金)

ウェルカムレセプション

●8月28日(土)

懇親会

.....
【一般演題申込および抄録原稿作成、提出】

1) 抄録原稿作成：大会HPより規定のWord(Windows).docファイルをダウンロードしていただき必要事項を記載の上、一般口演・ポスター発表の演題申込および抄録原稿を作成して下さい。

2) 演題申込と抄録送付先

大会事務局へメールにて送付して下さい。



3) 演題申込および抄録原稿の提出締め切り日時
平成22年5月21日(金) 17:00まで

.....
【参加登録】

1) 事前登録方法：学会誌「歯科審美22巻2号」に掲載予定の
学術大会案内事前参加申込書に必要事項をご記入いただき、大
会事務局までFAXでお申込下さい。

2) 事前登録締め切り日時

平成22年7月2日(金) 17:00まで

学術大会の詳細は学会誌「歯科審美22巻2号」に掲載されます。

8月28日(土)の午後は安比高原にてリフレッシュのお時間と
して楽しんでいただきたいと思います。随時、学術大会
HPにてお知らせして参ります。大会HPは「shinbi21」にて検
索してください。また、宿泊の申し込みは、

(http://appi.jp/hotel_reservation/pd.php?pid=1010)

にアクセスして下さい。
.....

【大会事務局】

第21回日本歯科審美学会学術大会事務局

〒020-8505 岩手県盛岡市中央通1-3-27

岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座冠橋義歯補綴学分野

実行委員長：武部 純 準備委員長：大平千之

Tel 019-651-5111(内線4127) Fax 019-654-3281

E-mail shinbi21@iwate-med.ac.jp



セミナーのご案内

日本歯科審美学会長 久光 久
セミナー委員長 桑原 栄

「審美歯科を活用し、医院を活性化する！」をメインテーマとして、「チーム医療」の重要性を焦点に、歯科医師と歯科技工士、歯科医師と歯科衛生士、そして三者のチームワークを具体的に述べていただく講演会を開催してきました。

「審美歯科」というと歯の色にのみ注目されがちですが、審美歯科を学ぶためには色・形・機能を包括的にとらえた健康美を理解することが大切と考えます。歯科医療人として一人でも多くの患者さんに本当の意味での美人になっていただく手助けをすることを期して、第4回セミナーは多くの会員の方々が日本歯科審美学会の認定士あるいは認定医という次のステージにステップアップしていただくためのセミナーとして企画いたしました。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

●第4回セミナー

【テーマ】白い歯・歯美人・素顔美人一次の魅力あるステージにステップアップ

【日時】2010年3月7日(日) 10:00~16:30

【会場】ベルサール神保町(東京都千代田区)

【定員】250名(先着順)

【コディネーター】日本歯科審美学会副会長 佐藤孝先生

【内容】

「白い歯・歯美人・素顔美人」一歯を白くするのが審美歯科？

田島菜穂子先生(ナグモ歯科クリニック・歯科衛生士)

「歯美人に必要なMIの知識」一健康美を求めて

桃井保子先生(鶴見大学歯学

部第一保存学教室 教授)

「ホワイトニング材はエナメル質を溶かすのか？」一白い歯をつくる唾液の力

向井義晴先生(神奈川歯科大学口腔治療学保存修復学)

「表情筋の活性化と歯科の未来」一すっきり小顔・ブルブル肌・パッチリ目

秋廣良昭先生(歯学博士・歯科医師・パタカラ開発者)



平成22年度 認定医・認定士申請のご案内

認定医審議会・認定士審議会委員長 宮内修平

本審議会の主たる目的は、会員の方々により多く認定医・認定士を取得していただくこととあります。しかしながら、現在まで認定取得者が少なく（特に認定医が少ない）、審議会としてその対策を考えてまいりました。その結果、認定取得のための申請条件を緩和すべく理事会、評議員会、総会の議を経て規則、細則の内容を少し変更させていただくことになりました。詳細は学会ホームページ (<http://www.jdshinbi.net/>) あるいは「歯科審美」Vol.22 No.2の巻末をご参照ください。

●認定医・認定士の申請者の増強

平成21年度春季の第25期認定医試験および第10期認定士試験の結果、新たに1名の認定医および19名の認定士（歯科技工士7名、歯科衛生士12名）が誕生いたしました。今回認定士取得者数が多かったのは今年の3月末で認定士申請のための暫定措置期間が終了したからです。

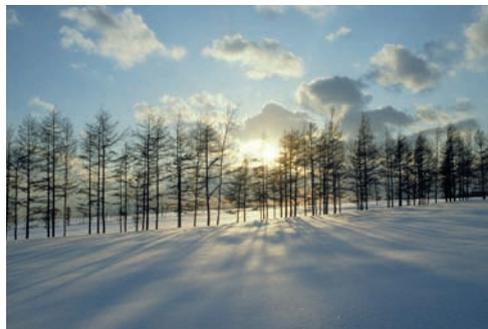
また、秋季の第26期認定医申請者は7名で、いつもより多いのは好ましいことですが、申請条件緩和の効果かもしれません。

資格・申請等に関するご質問は、学会事務局にお問い合わせください。

●平成22年度春季認定医・認定士申請の予定

第27期認定医申請者に対し、平成22年4月1日～平成22年4月30日を申請受付期間とする。第11期認定士申請者に対し、平成22年4月1日～平成22年4月30日を申請受付期間とする。

認定資格取得ご希望の会員は、学会ホームページ (<http://www.jdshinbi.net/>) あるいは「歯科審美」Vol.22 No.2の巻末をご参照のうえ奮って申請をしてください。



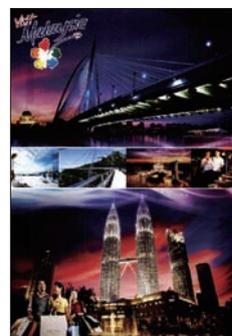
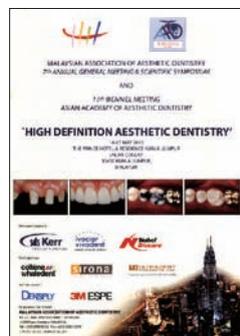
国際学会のご案内

第11回アジア歯科審美学会のご案内

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 顎口腔咬合学分野
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 若林一道

第11回アジア歯科審美学会(Asian Academy of Aesthetic Dentistry, AAAD)が本年の5月14～17日にマレーシア、クアラルンプールのプリンスホテルにて開催されます。Dr.Garip Gurel、Dr.Mauro Fradeaniといった世界的に著名な演者がゲストとして登場するだけでなく、一般の先生方を対象としたポスターやオーラルのセッション、ハンズオンコースも開催されます。クアラルンプールは「泥川の交わる場所」という意味のマレー語を語源に持ち、旧中央駅を中心に広がる美しいムア建築とペトロナスツインタワーをはじめとする近代建築と自然が見事に調和された美しい都市です。また多民族国家を象徴したバラエティ豊かなグルメも楽しめます。AAAD会長Sim Tang先生も日本からの沢山の先生方の参加をお待ちしておりますとのこと。登録料は比較的安めに設定されています。日本歯科審美学会の会員の方は、自動的にアジア歯科審美学会会員扱いになりますので、割引(前納で32,000円程度)が適用されます。是非この機会に多くの会員の皆様がアジア審美学会にご参加いただき、アジア諸国の審美歯科医との交流を楽しんで頂きますようご案内申し上げます。詳細および申込書は<http://www.jdshinbi.net/meeting/kokusai/image/aaad2010.pdf>からダウンロードできます。

また、IFEDの構成メンバーであるAACD(American Academy of Cosmetic Dentistry)の第26回年次大会が本年4月27日～5月1日にテキサス・グレイブバインにて開催されます。AACDと日本歯科審美学会は姉妹協定を結んでおり、来年から論文や演者の交流を進める予定です。



学術大会報告

第20回日本歯科審美学会学術大会開催報告

大会長 松村英雄・準備委員長 宮崎真至・実行委員長 小峰 太

メインテーマを“未来に向けた審美歯科 Esthetic Dentistry: Toward the Future”と掲げ、第20回日本歯科審美学会学術大会を平成21年9月19日(土)、20日(日)の両日にわたり品川区立総合区民会館(きゅりあん)にて開催致しました。学術大会開催に際しては、大会開催の趣旨をご理解いただいた日本歯学系学会協議会、東京都歯科医師会、神奈川県歯科医師会からのご後援をいただき、盛大に大会が開催されたことに、心より感謝申し上げます。お陰様で、幸い天候にも恵まれ、約800名の方々のご参加を得て、無事成功裏に学術大会を終了することができました。

特別講演は、日本大学歯学部口腔外科学教室II講座教授の米原啓之先生に“口腔外科・形成外科と審美歯科”、海外講演は、Asian Academy of Aesthetic Dentistryの会長であるDr. Tang Eng SIM(マレーシア)に“Immediate Implant Placement and Immediate Provisional: -Parameters for Success”と題してご講演いただきました。また、招待講演として(株)資生堂ビューティーソリューション開発センターの矢野裕子様にも、“口もとの美しさ”と題し、少し違った角度から口元の審美についてご講演いただきました。

二日間にわたり、シンポジウム1~4、オープニングシンポジウム、“奈良先生に習い、真鍋先生に学べ!”と題した審美修復スキルアップセミナー、ランチョンセミナーと盛りだくさんのプログラムが行われ、いずれの講演でもご好評を賜り、参加者のみならずご講演頂いた先生方にはあらためて心より感謝いた



受付ロビー

しております。さらに、一般演題発表として、一般口演発表17演題、ポスター発表35演題と多くの発表をいただき、それぞれの演題に対して熱心な討論が行われました。

また、学術大会と同時に一般市民に開放された市民公開講座“幸せを呼ぶ「キレイの力」”には、多数の市民のご参加をいただき、広く市民の皆様に審美歯科のことを知っていただける機会を得られたものと考えております。さらに、市民公開講座は品川区のご後援をいただき、市民公開講座開始に先立ち濱野健品川区長にご挨拶をいただきました。

企業の皆様にも、企業展示・協賛・抄録集広告・ランチョンセミナーなどで多大なご協力を賜り、学術大会を盛り上げていただき、心より御礼申し上げます。

末筆ながら、日本歯科審美学会の一層のご発展と次回の第21回学術大会のご盛会を心より祈念し、第20回学術大会のお礼ならびにご報告とさせていただきます。



ポスター討論



ランチョンセミナー

IFED大会報告

第6回国際歯科審美学会 (IFED) に参加して

愛知学院大学歯学部保存修復学講座 富士谷盛興

平成21年8月2～4日、米国ラスベガスの超有名なホテル、Bellagioにて開催された第6回IFED大会に参加してきました。夏の暑い時期に何で砂漠地帯? と思いながら、それでもあまねく不夜城、エンターテイメントの街にワクワクしながら、日中の外気温は40度を超えるところで勉強して参りました。

IFED (International Federation of Esthetic Dentistry, <http://www.ifed.org/>) は、1994年、アメリカ (AAED)、ヨーロッパ (EAED) と日本 (JAED) の3学会で設立され、現在は30カ国以上の学会が参加しています。IFED 学術大会は2年おきにメンバーによって開催され、今年はAAEDの主催でした。ちなみに、本学会の千田常任理事は、IFEDの常任理事でもあります。

本大会のテーマは、Passion, Esthetics, & New Technology: The Future of Dentistry ということで、50カ国近くから約1,500名を超える参加があり盛大でした。主催者のJ.D. West 2009 AAED会長のスローガン "IFED 2009 will change the way we see, do and think about Esthetic Dentistry. And if we can do all that, we can influence the world." のもと、朝8時から夕方5時過ぎまでみっちりプログラムが組まれておりました。

日本からは、宮崎真至先生が invited speaker として講演され (Adhesive-based Esthetic Dentistry)、盛況でした。また、一般発表はポスター発表のみでしたが、今回は20余題の発表があり、結構厳しい審査の末上位3題が優秀賞として表彰されました。

次のIFED国際大会は、2011年9月21～24日にリオデジャネイロで開催予定です。今年は、本学会と姉妹協定を結んでいるAACD (米国美容歯科学会) の年次大会 (4/27～5/1、テキサ



会場と砂漠 (Bellagioホテルと噴水の池。郊外は砂漠で、彼方にグランドキャニオンがある)

スGrapevine)とAAAD(アジア歯科審美学会)クアラルンプール大会(5/14~17)が開催されます。ご存知のように、本学会の事業として国際交流活動が大きく位置付けられております。国際渉外委員会委員として、会員の皆様の絶大なるご協力を切にお願いする次第でございます。



講演中の宮崎先生



優秀ポスター賞のプレゼンター(左:千田ポスターセッション座長、中:Nathanson 2009 IFED大会長、右:West 2009 AAED会長)



ポスター発表(左端が筆者。その右隣はNathanson 2009大会長)

韓国歯科審美学会報告

韓国歯科審美学会学術大会に参加して

長崎大学病院総合歯科 田上直美

国際渉外委員を拝命しつつ国際的寄与に乏しい私ではありましたが、中村委員長の「軽い気持ちでいいよー」を真に受け、2009年11月8日ソウルで開催された韓国歯科審美学会学術大会に参加して参りました。日本からの参加は招待講演演者の中村先生と若林先生(以上、大阪大学)、歯科審美編集委員長の寺田教授と永留先生、篠原先生(以上、九州大学)と田上の6名です。

学術大会の参加者は300名程度とやや少なめではありましたが、若い歯科医師の割合が多い事や、会場がソウルを代表する国際会議場COEXだったこともあり、明るく活気のある大会という印象を持ちました。プログラムも昼食以外は朝から夕方まで講演が並び充実したものでしたし、お国柄かもしれませんが講演も質疑応答も日本の学会よりエネルギッシュだったのが印象的でした。中村先生以外のご講演は韓国語で行われたため内容の把握は不十分であったと思いますが、数々の美しいスライドは万国共通で、大変勉強になりました。

歯周治療や矯正治療を含む包括的審美治療に関する中村先生のご講演は大変分かりやすく、多くの聴講者が感銘を受けました。中村先生は英語と日本語の両方で準備されていたそうですが、最終的に日本語でのご講演+逐次通訳となりましたので日本からの参加者には特に有り難く、興味深く拝聴させていただきました。

今回の学術大会では日本歯科審美学会会員のポスターセッションへの参加をご快諾頂きましたので、中村先生、永留先生、田上の3名が発表を行わせていただきました。一日に詰め込むスケジュールのせいか質疑応答の時間が無いのは残念でしたが、20演題のセッション会場には終始人が行き来し、参加者の関心



寺田善博先生と筆者

の高さを伺うことが出来ました。

と、ここまでが大会そのものの報告ですが、特筆すべきは私達が受けた「歓待」です。前日のウエルカムディナー、大会時の昼食、そして打ち上げにまでご招待頂きました。ディナーには Dr. Yim前会長、Dr. Sung会長、Dr. Myung-Jin Kim次期会長も参加され、友好的な雰囲気の中、韓国伝統料理を堪能させて頂きました。打ち上げは総勢30名ほどが黒豚を突き合うカジュアルなもので、腕を組んでビールを酌み交わし、とても書き表せない盛り上がりを見せました。今年の盛岡大会には韓国のメンバーが参加される予定であり、「岩手で会おう！」と誓い合って別れました。

韓国と日本の学会が強い絆で結ばれていることを改めて実感した大会でした。今、この友好の輪は他国にも広がりつつあります。国際的に調和しつつ切磋琢磨する学会の現状を目の当たりにし、大いに刺激を受けて帰国しました。



講演された中村隆志先生



韓国歯科審美学会の役員の先生と日本からの参加者

優秀発表賞受賞者のご紹介

デンツプライ賞を受賞して

日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 教授 加藤喜郎
第19回日本歯科審美学会総会・学



術大会は、私が大会長を務め「包括的審美で微笑みを」をメインテーマとして、平成20年10月12日(日)・13日(月・祝)の両日、日本歯科大学新潟生命歯学部で盛会裏に開催された。学会プログラムは、興味ある盛り沢山の企画で構成されていたが、その一つにポスター発表があった。

ポスター発表は全部で21題のエントリーがあったが、私どもも#P-9で長年追跡調査してきた修復歯を「ポーセレン・ラミネート・ベニア修復歯の20年経過例」と題し一例報告したところ、図らずもご投票者の高いご評価を得ることとなり、デンツプライ賞を受賞することとなった。立場上誠に恐縮している次第である。いずれにしても、初診時16歳の患者さんが36歳になられるまで6カ月～1年ごとに1回来院していただき、リコール調査を行い臨床経過観察をしたわけですから、その間に患者さんは京都に就職され京都から新潟までわざわざリコール調査に応じて来ていただいたのですから、まあよしとするかと考えています。この演題の詳細はY Katoh, et al4: Operative Dentistry, 34-5, 626-630, 2009に掲載されていますのでご覧ください。

平成21年9月19日(土)、東京都品川区きゅりあんで開催された第20回学術大会デンツプライ賞授賞式で表彰された。



受賞時の記念撮影



デンツプライ賞の楯

学会優秀発表賞を受賞して

日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座 小峰 太



このたび、「酸化アルミニウムセラミックスを用いたラミネートベニア修復について」と題した発表演題により、第18回学術大会優秀発表賞の受賞者に選出していただきましたことを、誠に光栄に存じております。

本発表は、前歯部の審美性改善を目的とした症例に対して、機械的強度に優れ、比較的透過性の低い酸化アルミニウム(アルミナ)セラミックスを使用しポーセレンラミネートベニア(PLV)修復を行った症例を報告いたしました。

審美性、生体親和性さらに安定性に優れたPLV修復は、前歯部における審美修復として広く臨床応用されています。特に、長石質系陶材を使用したPLV修復は、良好な長期臨床成績が報告されています。長石質系陶材は透過性の高く、支台歯色調の影響を受けやすい材料です。特に、PLVは非常に薄いため、支台歯色調が健全な場合は審美的に有利に働き、変色の強い歯へのPLV修復の応用においては、変色した支台歯色調が不利に働き、修復後の審美的な結果に悪影響を及ぼすと考えられます。その理由として、変色した支台歯色調がポーセレンを透過して暗い色調を呈する、あるいは支台歯色調遮断の目的でオパークポーセレンあるいはオパーク色の装着材料の使用による“白い”色調を呈するなどが指摘されています。本発表症例のように、アルミナセラミックスは、長石質系陶材に比較し透過性が低いため、支台歯色調の影響が小さくなり、安定した審美的結果を得やすくなることが可能となりました。しかし、アルミナセラミックスを応用したPLV修復に関する長期臨床成績に関する情報は少ないため、今後長期経過を観察する必要があります。

最後に、本発表を行うにあたり、終始ご懇篤なるご指導ならびにご高閲を賜りました日本大学歯学部補綴学教室III講座の松村英雄教授に深甚なる感謝の意を捧げますとともに、発表にご協力いただいた当講座の先生方に心より厚く御礼申し上げます。

委員会報告

編集委員会

前回のニュースレター以降のご報告事項としましては、「歯科審美 第22巻1号」を平成21年9月に発行致しました。特集記事としては、「全顎補綴と審美歯科技工」をとりあげ、執筆は中込敏夫先生、内藤孝雄先生、五十嵐智先生に依頼致しました。

平成21年11月27日に今年度第2回編集委員会を開催致しました。主な協議事項は、第22巻2号の編集でした。特集については、今回は歯科衛生士部門での企画を永瀬佳奈先生にお願い致しました。また「審美歯科関連の外来紹介」につきましても、これまで14大学に執筆をお願い致しましたが、今回は日本大学と大阪大学にお願い致しました。今後も引き続き各大学に執筆のご依頼をさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成21年8月2日から5日まで、第6回国際歯科審美学会がラスベガスで開催されましたので、その報告を国際渉外委員長の中村隆志先生と米国在住の脇智典先生に共同執筆で寄稿して頂きました。

また投稿規程に関係することですが、昨年「ヘルシンキ宣言」の改訂がありましたので、それに伴い投稿規定の見直しを行いました。

今後とも学術大会で発表された研究につきましては積極的に「歯科審美」に投稿して頂きますようお願い申し上げます。

これからも編集委員会としては紙面充実に努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いする次第です。

(委員長 寺田善博)

学術委員会

平成22年度学術大会（安比高原）の盛会を！

本年8月27日（金）～29日（日）に岩手県のリゾート地 安比高原において第21回日本歯科審美学会総会・学術大会が開催されます。現在、石橋寛二大会長、武部純実行委員長、大平千之準備委員長をはじめ関係各位のご尽力によりまして盛り沢山のスケジュールが企画されています。今学会の特徴は、2日間の学術大会において早朝7時から13時までの講演発表が行われ、午後はリゾート地で懇親を深めようとされている点です。朝に弱い者にとっては少々きつい学会かもしれませんが、午後からの爽快なリゾート気分を味わうためにも午前中は集中して講演発表の討論に花を咲かせたいものですね。

常任理事会や理事会において以前より申し上げてきましたが、学術大会の企画内容をすべて担当校にお任せするのではなく、担当校の企画を尊重しつつ、「日本歯科審美学会」としての特

徴を示すべき内容のシンポジウムなどを1つでも組みこんで開催することが、学会としての位置づけを明確にするものであると思います。本学術委員会が中心となって、シンポジウムの企画を行い、会長のご承諾のもと担当校にご提案することが本来の役割であると心得ます。そのような趣旨を受けて、学術委員会で検討した結果、下記の内容のシンポジウムを企画し、担当校に提言することになりました。石橋大会長はじめ関係各位の深いご理解とご承諾のもと、学術委員会（本学会）主導のシンポジウムをスケジュールに組み込んでいただくことができました。

シンポジウム: 『21年目のキセキ—審美治療のlongevityを考える—』

講演講師: 保存修復・補綴治療・矯正治療など各分野のオーソリティー

〈キセキ〉の意味は、各分野における審美治療の永年の軌跡、審美治療で可能な奇跡そして開催地地元の岩手県が輩出している人気グループ「Green」（歯科大生？）のヒット曲「キセキ」

新しい試みに期待される本年度の学術大会です。今年は「庚虎年」です。虎視眈々とじっくり物事を見聞し、すばやく行動に移す年であります。混迷する歯科医療界にあって、「日本歯科審美学会」が先陣を切って、打破躍進する年にしようではありませんか。

（委員長 末瀬一彦）

.....

セミナー委員会

「審美歯科を活用し、医院を活性化する！」のテーマの下、「チーム医療」を掲げ、歯科医師と歯科技工士、歯科医師と歯科衛生士、そして三者のチームワークを具体的に述べていただく講演会を開催いたしました。

第1回セミナーは7月12日（日）日本大学歯学部大講堂にて開催されました。内容は〈審美補綴を成功に導くための、歯科医師と歯科技工士のチームプレー〉としてコーディネーターに委員の坪田健嗣先生が担当し、「長持ち審美のチームプレー」を行田克則先生・滝澤 崇先生の講演、「チェアサイド&ラボワークにおけるチームアプローチ」を夏堀礼二先生・十河厚志先生の講演が行われ、それぞれ講演後に若い先生の出席が多い中、活発な質疑応答が行われました。

第2回セミナーは初めての歯科技工士活性化委員会との合同セミナーで10月4日（日）鶴見大学会館メインホールにて、開催内容は〈NEXT! 次世代の歯科技工士を育成する〉としてコーディネーターに委員の中込敏夫先生、座長に副会長の齊木好太郎先生が担当し、「人工歯形態を考慮した審美的配列術」を石川功和先生、「私の考える審美補綴（メタルセラミック）」小田中康裕先生、「審美歯科の臨床」西村好美先生がそれぞれ講

演され、学生を始め多くの技工士の皆様が参加されました。

第3回セミナーは昨年に続き、ホワイトニングコーディネーター委員会との合同セミナーとして12月20日(日)東京ステーションコンファレンスにて開催されました。“ホワイトニングフェスティバル 2009 Winter@TOKYO”として多くの出席者が昨年同様、午前中の講演、午後から各ブースに分かれて先生方によるハンズオン、Q&A、そしてメーカー展示と、ホワイトニングにおけるイベントを楽しんだと思います。

本委員会の企画も残すところ3月7日(日)開催予定の第4回セミナーのみとなりました。コーディネーターに副会長の佐藤孝先生をお迎えし、＜白い歯・歯美人・素顔美人・次の魅力あるステージにステップアップ＞をテーマに開催いたします。歯科衛生士さんたちが主体となっているセミナーですが、多くの参加者が見込まれます。

2年間にわたり活動いたしましたが、今の歯科界を反映してか、歯科医師の参加が若干少なかったような感じがしました。本学会の顔でもあるセミナー委員会の今後の活動に、さらに期待したいと思います。

最後に、久光会長の温かいご指導と委員の宮崎・佐藤教授、有田・日野・坪田・中込・斉藤・田島・中村各先生のご協力に感謝申し上げます。 (委員長 桑原 栄)

.....

国際渉外委員会

2009年後半における日本歯科審美学会(JAED)の国際渉外活動を紹介させていただきます。

最も大きな行事は、IFED(国際歯科審美学会)のラスベガス大会(8/2-5)でした。世界的な不況の影響で参加者の減少が予想されましたが、なんとか1,500名以上が出席して盛大に開催されました。JAEDを代表して宮崎教授(日本大学)が講演されました。次回は、2011年9月にリオデジャネイロで開催される予定です。

9月に開催されたJAED大会(東京・松村大会長)では、AAAD(アジア歯科審美学会)のDr. Tang Sim会長が2010年の大会プロモーションを兼ねて講演されました。AAADのマレーシア大会は、5/14-17にクアラルンプールのプリンスホテルで開催されます。Dr. Galip Gurel、Dr. Mauro Fradeaniといった著名な演者が講演を行う予定です。ポスターセッションも予定されていますので、ぜひ参加いただきたいと思います。

11月8日には、韓国歯科審美学会(KAED)がソウルで開催されました。韓国との姉妹協定に基づき、今回は私(中村)が講演を行いました。日本と韓国が相互に訪問することになっ

ており、今年のJAED岩手大会には韓国のドクターが参加される予定です。また、11月の終わりには、カトマンズ(ネパール)でアジア歯科審美学会の役員会が開かれました。これは、東アジア歯科審美学会に合わせて行われたもので、久光会長(AAAD次期会長)は理事会だけでなく、学会の方でも発表されました(写真1,2)。

そのほか、JAEDではアメリカの審美学会(American Academy of Cosmetic Dentistry)姉妹協定の手続きを進めています。姉妹協定の内容は、論文や演者の交流であり、AACDの代表が来年のJAED岩手大会に参加、講演される予定です。

IFEDやKAEDについては、国際渉外委員会の富士谷先生、田上先生のニュースレターの記事をご覧ください。また、歯科審美22巻1号と2号に掲載のレポートもあわせてお読みいただくと幸いです。
(委員長 中村隆志)



写真1 アジア歯科審美学会の理事会風景。今回は残念ながら、参加者が少なかった。



写真2 今回の学会主催者であるDr. Koilaraをはさんと久光会長と古川先生(昭和太)。

認定医審議会・認定士審議会

会員の皆様方には、日頃より日本歯科審美学会「認定医審議会・認定士審議会」に対しまして格別のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

以下に、平成21年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会ならびに認定制度運営委員会の実施

- 1) 平成21年5月28日(木) 平成21年度第1回合同会議
 1. 認定医更新希望者14名書類審査合格
 2. 認定士更新希望者(技工士5名、衛生士1名)書類審査合格
 3. 第25期新規認定医申請者書類審査(3名/2名合格、1名保留)
第10期新規認定士申請者書類審査・歯科技工士8名全員合格、
歯科衛生士13名全員合格
- 2) 平成21年8月8日(土)、9日(日) 平成21年度第2回認定医審議会・認定士審議会合同会議

1. 第25期認定医試験(症例提示・口頭試問)の結果・1名合格、2名保留
2. 第10期認定士試験の結果、21名(歯科技工士8名、歯科衛生士13名)のうち歯科技工士7名合格、1名保留、歯科衛生士12名合格、1名保留
- 3) 平成21年12月2日(木)平成21年度第3回認定医審議会
 1. 第26新規認定医申請者書類審査(7名/6名合格、1名保留・仮合格)
認定医更新希望者3名合格
認定士更新希望者(技工士2名保留、衛生士2名合格)
 2. 第25期認定医審査合格者1名
木村博之(きばやし歯科医院)
第10期認定士審査合格者
〈歯科技工士7名〉
木村健二(有限会社協和デンタルラボラトリー)、古賀壮一(有限会社エスケークラウン)、清水裕次(徳島大学医学部歯学部附属病院)、仲田誠一(和田精密株式会社)、木下浩志(大阪歯科大学歯科技工士専門学校)、鍛冶田忠彦(昭和大学歯科病院中央技工室)、沖本佑真(株式会社松風)
〈歯科衛生士12名〉
小林明子(小林歯科医院)、櫻井みゆき(昭和大学歯科病院)、酒井麻里(昭和大学歯科病院歯科衛生士室)、小椋香織(鶴見大学歯学部附属病院)、篠宮奈々恵(折笠歯科医院)、伊藤明子(折笠歯科医院)、中村佳代子(長崎大学医学部歯学部附属病院)、山口とき子(長崎大学医学部歯学部附属病院)、黒岩紀子(アルプス歯科医院)、稲垣美穂子(愛知学院大学歯学部附属病院)、早川純子(愛知学院大学歯学部附属病院)、青島郁美(愛知学院大学歯学部附属病院)



今後の予定

平成22年2月11日(木・祝)に平成21年度秋季第26期認定医申請者および第25期認定医審査保留者、第10期認定士保留者に対してプレゼンテーションおよび口頭試問による審査予定です。(委員長 宮内修平)

.....

学会活性化委員会

本年度、学会活性化委員会は種々の活動を行いましたが、主な内容を報告させていただきます。

1. 歯科技工士、歯科衛生士認定制度の調査

近年、日本歯科医学会分科会、日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会を中心に多くの認定制度が創設されています。委員会では中村佳代子委員と柵木寿男委員を中心に認定士、コーディネーター等の資格について調査を行いました。結果を本会機関誌「歯科審美」に掲載予定です。

2. 市民公開講座

佐藤由紀子、中村佳代子両委員が、本年度市民公開講座を企画、運営いたしました。当日は濱野健品川区長と久光久学会長に出席いただき、講演とパネルディスカッションが行われました。

3. 三位一体シンポジウム

第20回学術大会において、学術、認定医(士)審議、学会活性化の3委員会連携のもと、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士3職種の会員により、認定制度を踏まえたシンポジウムが開催されました。

4. スキルアップセミナー

委員会から大槻昌幸、柵木寿男、真鍋厚史委員の参加を得て、「奈良先生に習い、真鍋先生に学べ!」と題するセミナーを開催し、会場は超満員となりました。

本年も、学会会員数は増加の一途を辿っております。学会が益々活性化することを祈念いたします。(委員長 松村英雄)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

ホワイトニングコーディネーター講習会が2007年2月に開催されてから、北は北海道から南は沖縄まで全国を回り、これまでのホワイトニングコーディネーター登録者数は4,700名(2010年1月13日現在)を超えました。このホワイトニングコーディネーター制度に対する反響は現在も続いており、毎回どの会場でもすぐに満席になる状態で、ホワイトニングに対する関心の高さ、コーディネーターの資格取得に対する意欲の強さというものが、会場の熱気からも伝わってきます。

また、資格取得者のフォローアップのために出版した「コーディネーターのためのホワイトニングマニュアルーすべての人に白い歯をー」も多くのの方々にお読みいただき、昨年増刷するまでに至りました。

東京ステーションコンファレンスで昨年行われた、セミナー委員会とホワイトニングコーディネーター委員会共催の「ホワイトニングフェスティバル」でも、373名(歯科医師88名、歯科衛生士285名)の参加者が集まり、大変に活気のあるセミナーとなりました。

現在の委員会メンバーで行う講習会も、17回目となる2月の大宮が最後となりますが、最後の講習会でも受講者の全員合格を目指して、委員の先生方と力を合わせて頑張りたいと思います。

最後に、これまで委員の先生方には大変お世話になり、貴重な経験をさせていただきましたことを、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

(委員 永瀬佳奈)

.....

MTM研修推進委員会

MTM研修推進委員会からのアンケート調査結果について

MTM研修推進委員会では、昨年、一昨年の二度にわたり包括的歯科診療におけるMTM治療の必要性などに関するアンケート調査を実施させていただきました。ご協力いただきました方には、本稿を持って御礼申し上げます。

アンケートでは、(1)MTM治療が必要か等の治療に対する認識について、(2)治療形態や必要な知識や技術をどのように捉えているかについて、(3)MTM治療の適用症例や具体的な進め方について、(4)治療費について、などの項目について質問を設定いたしましたが、集計結果からMTM治療では歯周治療や補綴治療を踏まえた初期治療の一環として行われている傾向があり、そのためには矯正装置・治療メカニクスや保定・術後評価などの知識が必要と考えられている傾向があり、全顎的矯正治療と比較して、安価な治療費で比較的短時間で治療を終了させるという目標が伺われました。

MTM治療は部分的歯列不正を治療する矯正治療の一手段ではありますが、その適用範囲は決して狭いものではないこと、従って各歯科専門分野の知識・技術の共有化ができる協力体制が必要であるという高い意識が推測できました。

調査結果の全てを本誌面でお伝えすることは難しいと思いますので、アンケート調査結果の一部は、本年発行される「歯科審美」へ、調査報告論文として発表する予定であります。会員の皆様方の参考にいただければと思います。(委員長 三浦廣行)

会員証カード委員会

「会員証カード」については、本ニュースレターにてカード発行のメリット、内容等報告をさせて頂きました。その間、他学会との共同発行等も検討してきましたが、まずは本会単独のカードを作成する方向で今年度の評議員会・総会でお諮りして承認されたところです。

それを踏まえて、学会ホームページ上に「会員証カード」専用ページの製作とともに会員方のデータベース構築のための、入会歴等の会員情報、過去の学術大会や各種セミナー等の参加歴、各種認定取得情報等を纏めているところです。

これにより、会員個々のIDとパスワードを入力することによりご自分の会員情報や各種参加・受講歴が確認でき、また、認定資格新規取得や更新の時に必要な過去の取得合計単位数が表示されているので、あと何単位不足しているか確認できるようなど会員方の利便性を考えた内容となるよう準備を進めているところです。

また、会員情報のページについては、双方向性機能を組み込んでありますので、会員方の情報、例えば、住所等連絡先や氏名などの変更が生じた場合には、このページより変更が可能となりますので是非とも活用して頂き速やかな変更手続きをお願いしたいと思います。

本カードの発行を来年度中にはと現在鋭意進めております。本格的な運用開始時期になりましたら会員の皆様方にIDとパスワードを送付致しますので多くにご活用頂ければと思います。

(委員長 齊木好太郎)

個人情報入力画面イメージ

会員登録情報入力ページ

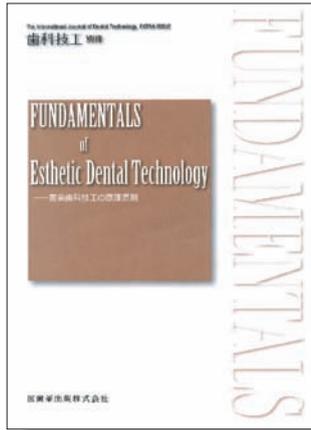
会員登録情報入力ページ

氏名	姓	名	フリガナ
田中	太郎		
田中	太郎		

合計 単位数: 14 単位



歯科技工士部門活性化委員会



歯科技工士部門活性化委員会は、日本歯科審美学会歯科技工士会員により構成され、歯科技工を通じて歯科審美の重要性を本会会員はもとよりを広く会員外にも周知、広報活動する目的で今年度よりその活動を始動した委員会であります。

今年度の具体的な活動としては、セミナー委員会主催の第2回セミナーとして、歯科技工士を対象とした「NEXT!次世代の歯科技工士を育成する」をテーマに、

石川功和先生、小田中康裕先生、西村好美先生方により「鶴見大学会館メインホール」にて開催しました。当日は、歯科技工士養成校の学生さん方をはじめとする多数の若い歯科技工士さん方に参加頂き企画趣旨に添った盛り上がったセミナーであったと思っておりますし、このような企画セミナーの再度の開催を望む声も頂きました。

また、医歯薬出版株式会社のご協力を得て昨年の歯科技工7月号では、特に若い歯科技工士方への情報として、歯科技工界の現状、日本歯科審美学会の活動等を紹介させて頂きました。また、11月に発刊された歯科技工別冊では、日本歯科審美学会歯科技工士認定士により、企画、執筆された「FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology—審美歯科技工の原理原則」を発刊させて頂きました。本別冊は、「歯科審美」を歯科技工士の立場から考えた「原理と原則」を各分野の専門歯科技工士認定士にご担当頂き特に若い歯科技工士の参考となるべく纏められたものであります。

このように、本委員会は日本歯科審美学会内での歯科技工士会員の連携を図りその活動の活性化はもとより、それを広く会員外にも広報してより歯科審美の充実を今後とも進めたいと思っております。
(委員長 齊木好太郎)

歯科衛生士部門

2007年2月からはじまったホワイトニングコーディネーター認定制度により、歯科衛生士の会員数が現在も増加し続けており、2010年1月13日現在の会員数は1,012名となっております。

また、認定士も27名に増え、会員数から考えますとまだまだ少ない人数ではありますが、年々増加傾向にあります。

昨年12月に東京ステーションコンファレンスで行われましたセミナー委員会とホワイトニングコーディネーター委員会共催の「ホワイトニングフェスティバル」でも、285名の歯科衛生士(そのうち会員が77名)が参加しており、歯科衛生士のホワイトニングに対する関心の高さがうかがえました。

また、3月7日(日)には、ベルサール神保町でセミナー委員会による「白い歯・歯美人・素顔美人一次の魅力あるステージにステップアップ」が開催されます。ホワイトニングコーディネーター、認定士の更新対象セミナーでもありますので、こちらのセミナーにもぜひ多くの歯科衛生士の皆様にご参加いただければと思います。

(歯科衛生士部門常任理事 永瀬佳奈)

.....

表彰委員会

会則第6章第26条に基づく表彰制度の規程・細則・内規及び関連事項が制定され、この制度に基づく表彰が平成22年度からスタートすることになりました。

表彰の流れの概略は次のようになっています。(1)各賞候補者の募集は、毎年度の本会機関誌第2号において行う。(2)各賞候補者の申請は、必要書類を添えて、次年度の5月31日までに事務局に提出する。(3)各賞(学会功労賞、推薦による優秀論文賞)については選考委員会が当該者に推薦の通知を行い、被推薦者は同意する場合必要な書類を提出する。(4)応募による優秀論文賞については応募者自身が必要書類を提出する。(5)選考委員会は、各賞の候補者を審査選考し、その結果を別に定める申請書類一式を添えて、常任理事会ならびに理事会に報告する。(6)受賞者の表彰は総会にて行う。

今年は、学術大会・総会が8月末ですので、受賞者の選考および表彰のスケジュールに余裕がなく、理事会で受賞者の報告を行い、総会で受賞者の出席のもとに表彰を行うためには、受賞者を内定して、通知する段取りが必要になります。

表彰制度のスタートの年に、例外的な運用になって申し訳ありませんが、会員諸兄姉には諸般の事情をご賢察・ご寛容のうえ、この表彰制度が本学会の発展に寄与できるよう、ご支援をお願い申し上げます。

(委員長 長岡英一)

広報委員会

今期広報委員会では、ホームページのデザインの変更も含めた大幅な更新について検討を重ねてまいりましたが、間もなく新しい顔で公開されることとなりました。今や情報の受信・発信のツールとしてインターネットは一般社会の中で深く浸透し、学会活動の一つとしての役割は一層増して来たと言わざるを得ません。より多くの人々が訪問し易く、欲しい情報に到達し易く、審美歯科のイメージアップに繋がるようにといったことをデザインのコンセプトとして、更新作業をすすめております。

一般人向けの審美歯科の紹介内容も、最新のものにすべく、広報委員の先生方にご苦労いただいております、充実した内容になるものとご期待下さい。

さらに、会員証発行委員会が、会員情報の変更、個人の学会参加履歴の閲覧などがホームページ上できるようにと計画中の会員専用ページも、データベースの作成が終わり次第可動する予定です。現在最終の段階に入っておりますので、年度内には改装工事の終わったホームページがお目見えいたします。是非一度訪問してみてください。会員の皆様のホームページにリンクを貼っていただくと検索順位が上がりますので、ご協力の程お願いいたします。

また、HP開設以来お世話いただいていた管理会社についても、不具合が重なって来たため、1月から本会の賛助会員でもあるプランネットワークス社に変更しました。

広報委員会のもう一つの仕事でありますNewsletterも、学術大会担当の諸先生方、国際渉外委員会委員各位、執行部、常任理事各位のご協力の御蔭で充実した内容で4号発刊することができました。関係各位に厚くお礼申し上げます。

最後に2年間広報委員としてご活動ご協力いただきました、広報委員会(大槻昌幸・木村美佐子・椿智之・橋場千織・古谷彰伸・若林一道 敬称略)の先生方、HPでご協力いただいた有田博一先生、三宝印刷(株)の若林孝彦様に感謝申し上げます。

(委員長 黒田康子)



トピックス

「プチ矯正」の契機 MI治療を達成するための矯正専門医からの提案

はしば矯正歯科 橋場千織

審美歯科関係の症例発表の際、歯の並びを良く見せるために健全歯に、ラミネートベニアやセラミッククラウンを装着して治している例をよくみかける。その際、発表の先生は必ずというほど「患者が矯正を嫌がったので…」とのご発言をされる。

ご自身は矯正治療を勧めたのにもかかわらず、患者が嫌がったので仕方なくこのような処置をなされたというニュアンスのもとに、歯の並びを改善する目的で健全歯を削合あるいは一部抜歯して補綴治療をしたことを正当化されているように思える。

人工歯と天然歯の違いを説明し、人工歯のリスクを話してもやりたがらない矯正治療とはなんぞや。矯正専門医として矯正治療を嫌がる理由を考えてみた。「ギラギラする矯正装置(ブレース)が目立って嫌」「痛いから嫌(すごく痛い友人から聞いた)」「時間がかかるから嫌」これらが矯正治療を拒否する3大理由のようである。

これらの理由で矯正治療を拒否している患者さんと、ちょっと歯の位置が変えられたらもっと良い修復が出来るのにと考えている先生方に朗報がある。

近年の矯正材料の進歩から、簡単な装置で、見えなくて、しかも短期間という治療方法がいくつか紹介されているのである。「2Dブラケットシステム」「クリアライナー」「インビザライン」などである。勿論治療の限界はあるが、前歯の限局的な叢生には写真のように効果的である。

歯科界では過去のオーバートリートメントの反省から、MI治療の重要性が唱えられてきて久しい。見えない装置で痛みが少なく短期間で治療可能という夢のような矯正装置が、叢生を改善するために多数の歯を削合して治療せざるえない先生方の助けになり、処置歯を減少させて天然歯を生かすことができるMI治療のお役に立つことが出来たら嬉しい限りである。

● 2Dブラケットシステム ※歯の動きには個人差があります。



治療前 30歳女性

2Dブラケット装着時

ブラケット装着40日後

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



アストラテック株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16
Tel: 03-5775-0515
<http://www.astratech.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F
Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15
ATビル2F
Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



クラレメディカル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraray.co.jp/dental>



サイブロン・デンタル株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-24
Tel: 03-5977-3127
<http://www.kerr-japan.com/>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (フリーダイヤル): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒108-0074 東京都港区高輪2-15-21
高輪小野ビル3F
Tel: 03-5475-2255
<http://www.sirona.co.jp>



タカラベルモント株式会社
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1
Tel: 06-6212-3619
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



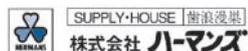
株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒601-8469 京都市南区唐橋平垣町8
Tel: 075-681-5719
<http://nissin-dental.jp>



白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>



プランネットワークス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-19
KV溜池ビル
Tel: 03-5573-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

サウスコーストデンタル株式会社
メディア株式会社



Happy Smiles & Heartful Communication

PYRENEES
In-Office Teeth Whitening System

白い歯、
輝いていますか？

Eriko Kumazawa

歯科用漂白材 **ピレーネ**® 製造販売 三菱ガス化学株式会社

●医療機器承認番号 21800BZZ10066000 ●医療機器の分類 高度管理医療機器(クラスII) ■標準価格 30,000円

◎掲載商品の標準価格は、2009年1月21日現在のものです。標準価格には消費税は含まれておりません。◎ご使用に際しましては添付書をお読みください。

発売 **株式会社モリタ** 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人/久光 久

編集/日本歯科審美学会広報委員会

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/